

グラウンド・ゴルフ【自主活動】

1 活動のねらい

仲間と協力し、創意工夫しながら競技を楽しむことで、グループ内でのコミュニケーションの促進を図り、親睦を深めることができます。

2 活動の概要

年齢を問わず、手軽に楽しめる軽スポーツであり、ゴルフの雰囲気も味わえます。

専用の木製クラブでボールを打ち、ホールポスト（金属の輪）に、いかに少ない打数で入れられるかを競うゲームです。



3 人数・時間・場所

- (1) 人数 54名（6名×9班）
- (2) 期間 5月上旬～10月下旬
- (3) 時間 2時間程度
- (4) 場所 交流の家周辺（バス車庫前に集合、スタート）

4 指導について

活動は、用具貸出後、団体の自主活動となります。交流の家職員による説明の希望の有無及び班数を活動日程表の所定の欄に記入してください。（利用の手引き：日程表の欄に記載必要）

はじめての場合「グラウンド・ゴルフの進め方」を参考に、事前指導を行うことにより円滑な活動ができます。

5 準備する物

区分	内容
団体	・雨具 ・帽子 ・水筒など（水分補給用） ・タオル
交流の家	・コース図 ・スコア表 ・筆記用具（班毎） ・クラブ、ボール等 …車庫前

6 引率者の役割分担

係名	人数	役割
責任者	1名	責任者として、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
パトロール係	数名	コースを巡回し安全と事故防止に努める。

7 活動の流れ

活動の流れ	内容
物品借用	・代表者が、コース図、スコア表、用具台車（ゴール、クラブ、ボール）を借用
コース設置	・コース図を基に、自分たちでコースを作る
ルール説明	・代表者がスタート地点で、ルール、安全管理について全体説明
活動開始	・競技（パトロール係は巡回指導）
活動終了	・全員ゴールを確認し、事務室へ報告（用具台車は、車庫へ） ・設置したコースを片付ける ・職員立ち会いのもと、借用物品を確認し、返却

8 実施上の留意点

草むらや林の中では、危険箇所や危険な動植物に十分注意してください。

グラウンド・ゴルフの進め方

- 1 9ホールの合計打数が最も少なかった人が勝ちになる「ストロークプレイ」を行います。
- 2 クラブのヘッドの平らな面で、ボールを打ちます。押し出しやかき寄せはいけません。
空振りは、1打と数えません。
*第1打は、それぞれのホールの表示があるところから打ちます。
- 3 打ったボールがホールポスト内で静止すればホールインとなります。各ホールとも第1打がホールポスト内で静止すればホールインワンとなります。この場合、ボーナス得点として全ホールを回り終えたあとの合計打数から「3」を引きます。
- 4 打順は、ジャンケン等で順序を決め、各ホールごとに1番から1打ずつ順番に打っていくのが分かりやすいです。
別の方法として、次のホールから打順をひとつずつ繰り上げていく方法もあります。
(例) 1ホール目…A→B→C→D→E
2ホール目…B→C→D→E→A
3ホール目…C→D→E→A→B
- 5 自分が何打でそのホールを終えたか（ホールアウト）は、自分でしっかりと覚えておき、グループ全員がホールアウトした時に、スコアカードに記入します。
- 6 次のホールでプレイする時は、別のグループがそのホールでのプレイを終えていることを確認してから開始します。
- 7 プレイできる場所は、芝生の上だけです。アウト・オブ・バウンズ（OB：コース外にボールが出ること）の場合は、それまでの打数に1打を加え、元の場所から打ち直します。
- 8 アンプレイアブル（植え込みの中に入るなど、プレイが不可能）の場合は、ボールを手で拾い上げ、それまでの打数に1打を加え、ホールに近づかないようにクラブの長さの範囲内にボールを置き直してプレイを続行します。
- 9 打ったボールが他のボールに当たった場合、打ったボールはその止まった場所から、当てられたボールは元の場所に戻してプレイを続行します。
- 10 他のボールが妨げになる場合、ボールの持ち主に告げ、打ち終わるまでそのボールを持っていてもらいます。妨げになるボールの持ち主は、コインなどで自分のボールの場所をマークしておきます。
*妨げになるボールがゴールのすぐそばにある時は、先に打ってもらってもかまいません。
- 11 ボールの後方の障害物（木の枝や石）は除去できますが、ボールの前方の障害物は、他のプレイヤーのボール以外は動かすことができません。